



一般社団法人
日本老年療法学会
The Japan Geriatric Therapy Society

日本老年療法学会
The Japan Geriatric Therapy Society

Mar. 2023
Vol. 01
No. 02

News letter

発行：一般社団法人 日本老年療法学会

第1回 日本老年療法学会学術集会 開催報告



2022年10月1日(土)～2日(日)の2日間、沖縄科学技術大学院大学(OIST)にて第1回日本老年療法学会学術集会が開催されました。記念すべき第1回の学術集会は「老年療法学の確立へ向けて～多職種連携の重要性～」をメインテーマに、本学会理事長の島田裕之先生(国立長寿医療研究センター研究所老年学・社会科学センター長)が大会長を務められました。学会設立後初めての学術集会でしたが、現地参加と

web参加(Live配信)をあわせて200名以上のご参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。

会場となったOISTは、リゾート地としても知られる沖縄県恩納村にあります。島田会長が「服装フリー、短パンでもサンダルでもなんでもOK!」とツイートされたこともあり、当日の会場は、かりゆしウェアや短パン、サンダルなどリゾートスタイルの参加者が多く、スーツスタイルが一般的な他の学会とは異なり、とてもリラックスした雰囲気でした。

プログラムは会長講演、教育講演の他、Meet the Experts「がん患者のリハビリテーション」、シンポジウム「脳卒中患者の社会的活動」では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による発表とディスカッションがあり、それぞれの専門性を共有し互いに研鑽する良い機会となりました。アフターセッション(現地のみ)では、社会的孤立・介護負担・転倒など共通認識の高い社会問題に対して、新たな視点から取り組んでいる発展性の高い演題を取り上げました。ディスカッションの時間を多く取ったことや質問者がオーディエンスに質問する、質問者を

指名するなどの工夫もあり、対面学会ならではの一体感のあるセッションとなりました。他にも、認知症やフレイルのデジタル領域に関するセミナーや栄養サポートチーム、歩行と認知機能に関するセミナーがあり、老年療法学の重要なテーマについて、トップランナーの先生方から最新の知見を提供していただきました。一般演題からもハイレベルな研究報告が多く、いずれの演題においても活発な議論がなされていました。発表された優秀な演題に対して、最優秀賞、優秀賞、奨励賞、会長賞が授与されました(表)。

最後となりますが、本学術集会にご参会いただきました皆様、開催にあたりご支援、ご協力をいただきました関係各位、協賛各社に心より御礼申し上げます。



受賞名	演題	受賞者
最優秀賞	■ アクティブラーニング型健康教育が高齢者の身体活動に及ぼす持続効果～ランダム化比較試験～	上村 一貴 先生
優秀賞	■ 地域在住要介護高齢者における社会活動の類型化の試み～潜在クラス分析を用いた横断的研究～	尾川 達也 先生
	■ 地域高齢者におけるフレイル状態の変化とRest-Activity Rhythm patternsの関連について	久米 裕 先生
奨励賞	■ 要介護非認定高齢者における、様々な健康状態の健康関連QOL値の推定～大規模横断研究～	池田 登顕 先生
	■ 長期的な運動指導介入は、糖尿病性腎臓病患者における心大血管疾患の発症および全死亡リスクを抑制する	田宮 創 先生
	■ 地域在住高齢者におけるPGC-1 α 遺伝子多型と転倒との関連	白土 大成 先生
会長賞	■ 地域在住高齢者における日常会話量と社会的孤立・社会参加の関連～性別毎の検討～	鈴木 瑞恵 先生

第2回 日本老年療法学会学術集会のご案内

第2回日本老年療法学会学術集会を2023年9月2日(土)・3日(日)に鹿児島県奄美市の奄美市市民交流センターにおいて開催することとなり、鋭意準備を進めております。

本学会は老年学に関わる療法士、専門職、研究者が一堂に会する学会であり、第1回学術集会においてもそれぞれの専門職の視点から質の高い研究報告がなされ、職種の垣根を越えた活発な議論がなされてきました。老年学に関わる様々な専門職が集う大会だからこそ、活気ある超高齢社会実現に向けたイノベーション創出の有益な機会となるので

はないでしょうか。多職種の方々にとって有意義な大会となるようプログラムの準備を進めておりますので、ぜひ療法士だけでなく、多くの専門職の方々にご参加いただき、新たな知見の共有・発展の機会となることを期待しております。プログラムについては、下記の学術集会ホームページに随時更新いたしますのでぜひご覧ください。

開催地である奄美市を含む奄美大島は世界自然遺産の地でもあります。学術はもちろんですが、世界遺産の自然や文化・食についてもみなさまと一緒に感じられることを楽しみにお待ちしております。



》大会長挨拶



第2回日本老年療法学会学術集会
会長 牧迫 飛雄馬

国立大学法人鹿児島大学
医学部保健学科 教授
一般社団法人 日本老年療法学会
副理事長

第2回日本老年療法学会学術集会の会長としてご挨拶申し上げます。このたび「第2回日本老年療法学会学術集会」を、2023年9月2日、3日の2日間、奄美市市民交流センター（鹿児島県奄美市）にて開催させていただくことになりました。本学会の大会開催に携われることを大変光栄に存じます。

第2回日本老年療法学会学術集会のテーマは、「老年療法学の確立へ向けて～多職種・異分野融合によるイノベーション～」といたしました。老年療法学の確立のためには、老年学に関わる療法士、専門職、研究者が一堂に会して、これまでの知見を十分に共有・理解して発展させるとともに、革新的なイノベーション創出を促進することが必要であると考えます。

活気ある超高齢社会を実現するために、老年療法学に関わる基礎から臨床に

わたる多様な職種や分野について最新の報告と活発な討論が行われ、その成果を発展させたイノベーションを創出する種を生み出す有益な機会となるよう大会長の役目を努める所存です。世界遺産に登録された奄美の地へ是非とも多くの会員の方々にお越しいただき、世界遺産の食と文化にも触れていただけることを願っております。

第2回日本老年療法学会学術集会実行委員一同、皆様にご満足いただけるプログラムとなるよう鋭意準備を進めております。また、学会賞も準備しておりますので、奮って演題応募していただきたく存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

末筆ではございますが、皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第2回 日本老年療法学会学術集会

会 長	牧迫 飛雄馬（国立大学法人鹿児島大学 医学部保健学科）
テ ー マ	老年療法学の確立へ向けて ～多職種・異分野融合によるイノベーション～
会 期	2023年9月2日(土)～3日(日)
会 場	奄美市市民交流センター（鹿児島県奄美市名瀬柳町2番1号）
お問い合わせ	TEL:099-298-1511 FAX:099-298-1512 E-mail:info@jgts2023.com

詳細は本学術集会ホームページよりご確認ください。
<https://jgts2023.com/>



》今年度の学術研修会の開催報告と開催予定

今年度は全3回の研修会を予定しております(表)。老年療法学の学術的知見を学ぶレクチャーに加え、療法士が地域を支えるための課題もテーマに設定しております。グループディス

カッションなど参加型の形式も予定しておりますので、ぜひ多くの先生方のご参加をお待ちしております。

	開催日	テーマ
第1回	2022年12月17日(土)	第1部【レクチャー】 療法士に求められるこれからの介護予防と地域づくり 第2部【グループディスカッション】 介護予防における3つの実践: フレイル・ロコモ、認知症、栄養・口腔機能
第2回	2023年2月18日(土)	第1部【レクチャー】 認知症初期段階におけるリハビリテーション 第2部【グループディスカッション】 認知症におけるIADLに関する 初期支援と多職種連携
第3回	2023年4~6月頃	【レクチャー】 高齢者の栄養に関する基礎的な内容(仮)

》第1回 研修会の様子

第1回研修会は二部構成で開催いたしました。第一部「療法士に求められるこれからの介護予防と地域づくり」では、永井宏達先生(兵庫医療大学)に『理論編』と『実践編』に分けてご講義頂きました。第二部「介護予防における3つの領域の実践」では、グループディスカッションの形式で、森 優太先生(花の丘病院)、石橋 裕先生(東京都立大学)、鈴木瑞恵先生(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)にアドバイザーとしてご登壇頂き、参加された先生方と情報交換を行いました。



日本老年療法学会
The Japan Geriatric Therapy Society

【編集・発行人】 日本老年療法学会広報委員会
土井・井上・石田・石橋・小川・田宮・永見・福岡・三栖・丸田・宮田

【発行所】 一般社団法人日本老年療法学会
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 毎日学術フォーラム内

【事務局】 一般社団法人日本老年療法学会
Tel:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 Email:maf-jgts@mynavi.jp